



2月には気温が10℃くらいに上がった日があり、このまま春になるのかも？とばかり思っていました。しかし、寒さが戻り、雪が降ったりしている青森です。高齢化などで、園地を手放す人が増えています。「りんご畑をやって欲しい」とお声がけいただきました。若いスタッフも増えてきたので引き継がせていこうということになりました。毎年少しずつ園地が増えている状況です。今まで心を込めてりんごを育てきた園地です。出来るだけりんごの木を残していきたいと思っています。少しでも地域貢献ができれば、という思いです。

りんご農家の助け合い

私どもの園地の剪定も終わり、今は地域の農家さんのりんごの木の剪定作業を行っています。

高齢化や病気などの理由で作業が難しい農家さんたちの代わりに、私たちが剪定を行っています。

この活動は産業活性化にもつながりますし、同じりんご農家同士の繋がりも広げることができます。剪定に行った農家さんからお礼の言葉をいただき、嬉しく思っています。

私たちもいろいろ学ばせていただいています。

これからも地域の方が喜んでいただけるような活動を続けていきたいと思えます。

原子



小さな巨人マメコバチ

マメコバチさんは春に畑を飛び回り、受粉作業を手伝ってくれます。

冬になると休眠するので、その家を僕達が用意しています。

だいたい30センチの長さで5ミリから1センチの筒状の(カヤ)の中で縦に並んで休眠します。そのマメコバチさんを1匹1匹、丁寧に綺麗にして働きやすく快適にしてあげるのが僕達の仕事です。

カヤを割って綺麗にしてから春まで箱に入り冷蔵庫にて出番を待っています。暖かくなると、マユから出て、花から花へ飛び回ります。

マメコバチさん、春になったら受粉作業を一緒に頑張ろうね。



マメコバチのカヤ

對馬

【りんごのつばみ】の形は色々

りんごの芽の形は品種によって少し違ってきます。ふじの芽が標準の形だとすると、【王林】や【恋空】の芽はスリムでとがっています。紅玉の芽は丸みがあってぷっくりしています。

全てを調べてはいませんが他にも違いはあると思います。紅玉の芽は「わった」可愛く見えて癒されています。佐藤



紅玉

ふじ

恋空

※「わった」・・・津軽弁でとても、すごく



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : <http://ooyufarm.com>